

科目名	看護教育特論	担当教員	児玉有子
科目属性	専門科目 D	単位数	2 単位（面接 0.25 単位）
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>【授業概要】</p> <p>本講義の目的は、看護基礎教育領域の教育者に必要な要件を理解し、教育活動を展開できる能力を習得すること、そして、看護学における基礎教育実践者が備えるべき教育理論、授業設計や講義、演習、実習指導について具体的方法について習得することとする。</p> <p>【授業到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護基礎教育領域の歴史と関連する法規、制度について説明できる。 2. 教育技術、教育方法、さらには自分の看護に対する考えを反映したカリキュラムデザインについて説明できる。 3. 2. で説明したカリキュラムに基づき、授業設計ができる。 4. 授業設計にしたがい、指導案が立案できる。 5. 指導案に基づいた、（模擬）授業を実施することができる。 			
<p>【授業計画】</p> <p>本科目はレポート提出、スクーリングと教材学習および科目修得試験（レポート形式）で構成します。したがって、まず、以下に示す 15 回までの内容をテキストに基づいて学習を進めること、さらにその進度に合わせてレポートを提出し、模擬授業を主体とした総括的なスクーリングを行う。</p> <p>評価は「スクーリング評価」（20%）、「レポート評価」（40%）、「科目修得試験」（40%）の割合で総合して評価する。</p> <p>（授業計画）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護教育とは何か 2. 看護教育の歴史と制度と特徴 3. 看護教育を支える理論 4. 看護教育を支える基礎知識 5. 看護教育のカリキュラム（1） 6. 看護教育のカリキュラム（2） 7. 看護教育の教授活動（1） 8. 看護教育の教授活動（2） 9. 教育評価 10. 臨地実習における教授と学習 11. 演習における教授と学習 12. 指導案作成 13. 指導案作成 14. 模擬授業（スクーリング） 15. 模擬授業（スクーリング） 			

【評価方法】

「スクーリング評価」(20%)、「レポート評価」(40%)、「科目修得試験」(40%)の割合で総合して評価する。

【教科書】

1. 舟島なをみ. (2020). 「看護学教育における授業展開 第2版— 質高い講義・演習・実習実現に向けて」, 医学書院
2. 杉森みど里/舟島なをみ. (2021). 「看護教育学 第7版」, 医学書院
3. 美鈴グレッグ/池西悦子. (2018). 「看護教育学(改訂第2版): 看護を学ぶ自分と向き合う (看護学テキスト NiCE)」, 南江堂

【参考図書】

- ・ 考える看護学生を育む授業づくり 意欲と主体性を引き出す指導方法. 新井 英靖 (編著) ゼカルフレンド社
- ・ 池西 静江 (2021) 看護教育へようこそ 第2版. 医学書院
- ・ 守本とも子 (2015) 看護のための『教育学』. あいり出版
- ・ 野崎 真奈美, 水戸 優子, 渡辺 かづみ. (2016) 計画・実施・評価を循環させる授業設計 看護教育における講義・演習・実習の作り方. 医学書院
- ・ 平尾 真智子 (1999). 資料にみる日本看護教育史. 看護の科学社
- ・ 中井 俊樹, 小林 忠資 (編). 看護のための教育学 (2015) 医学書院
- ・ 舟島 なをみ. (2015) 看護実践・教育のための測定用具ファイル第3版—開発過程から活用の実際まで— 医学書院